

お

○北海道  
行政書士  
会、昭和3  
、昭和3試験  
昭和3  
試験札幌  
函館  
旭川釧路  
受験  
昭和なけ  
受験(1) 受  
方課(2) 受  
りの受験  
(1) 次ア 校  
者イ(2) 担  
次受ア イ  
準ウ 試  
験筆(1) 常  
務(2) 受  
験(1) 受  
格こ  
アイ  
ウ


# 北海道行政書士会報

発行所  
札幌市大通西6丁目  
北海道行政書士会  
TEL③3881  
振替口座小樽8224  
印刷所  
株式会社 正文舎印刷所  
札幌市菊水西町2丁目  
電話③7151~3番

## 主張

北海道行政書士会

常任理事 成沢梅次郎



### 理解と協力を

昭和三十五年行政書士法が改正され、強制会として発足、施行後三カ年を経過し、この間会員各位の努力と心強い団結の下に、昭和三十七年三月会則の改正報酬規程の増額許可を見るに至り、全道会員四七〇名を擁する組織体となり、除々に本会が発展を見るに及び会員各位が日夜業務に精励されて居られる事は喜びに堪えない。然るに未だ会本来の使命を達成するにはなお幾多の問題が山積している。現在施行の法に於て調査士会、司法書士会等に比し行政書士法の内容自体に改正を要する事項多く、全面的に法の改正を願ひ我等安心して職域に奉仕出来る様連合会を通じてその実現に向つて目下運動中である。

紙面で既に御承知の通り本年度の重点対策である職

域擁護についても其の都度監督官庁を通じて取締方を要望陳情しているが、非行政書士又は類似行為を敢行し法の盲点を利用する悪徳者の今なお後を断たないことは実に遺憾に堪えない所である。行政書士の業務は他の会に比較し頗る多岐に亘り、且つ広範囲であるために取締官庁に於ても事実上取締つていない実情である。仍つて会は取締官庁許りに依存しては居られないのである。会員各位がこれら非行政書士並びに類似行為者の発見に努め事実を確認し、本会にどしどし御報告下さることを要望致します。報告のあつた事実については執行部に於てそれぞれ処置し、その効果を挙げつつあるが、問題の多い、自動車陸運、保険医労災、健康保険、農協、風俗営業、宅建業組合職員の代理越権行為者は勿論、程度を越ゆる公務員の過剰サービス等のため我等の職域を侵害されつつある現況を見ると

## 第十一号 もくじ

### 主張

理解と協力を

### 報告

○第四回常任理事会

○第五回常任理事会

### 連合会

○第三回定時総会

○連合会出席報告

### 支部だより

○空知支部南部部会講習会

### 雑報

○支部別会員数

○会費未納者調

### 会員の異動

○入会、退会者

○事務所移転

○氏名変更

### 事務局より

○日誌

○お願い

後記

き断乎として排撃する決意を持たねばならない。  
会員各位は昔日の代書業觀念を捨て行政書士たる不  
動のサムライ地位を獲得したのであるから、自ら品位  
の向上と、權威を保持し、卑屈に墮することなく一般  
大衆の權利義務の擁護者として我等の団結の力で非行  
政書士の絶滅に努めようではありませんか。  
どうか会員各位の深い御理解と心からなる御協力を  
切望する次第であります。

## 報告

### 第四回常任理事会

とき 八月十三日 午後六時  
ところ 於 本会事務所  
出席者 渡辺会長 外七名

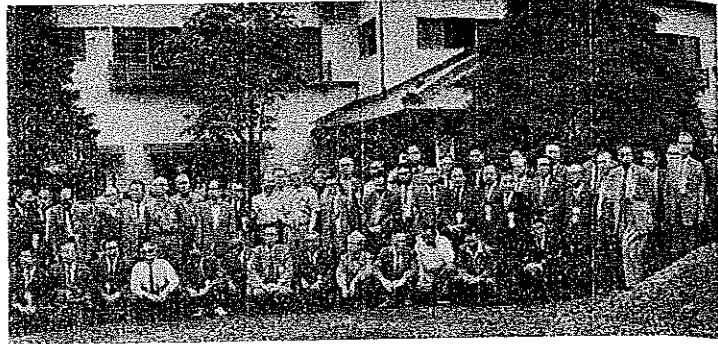
一、連合会支部長並びに常任理事会出席について  
八月二十日東京都(参議院会館)に於いて開催さ  
れる会議に該当役員の渡辺会長(連合会北海道支部  
長)と藤山副会長(連合会常任理事)が出席するこ  
とに決定した。

二、会員の職域擁護について

渡辺会長、藤山副会長より、某会員から適確な資  
料を附して処置を要望してきた非行政書士(主とし  
て農地法の諸申請書作成の行為)の問題その他につ  
き道の見解をただすべく道地方課野田行政係長を訪  
問した経過を報告

道の回答要旨は

「全般に亘り行政指導はするが農業委員会は直接  
監督下にないので会は独自の処置をとりたい」と  
のことであり、審議の結果、違反事例の明確なもの  
は当該事務局長に行政書士法違反として京調方を



され、祝  
辞を述べ  
られた。  
祝電披露  
九通の祝  
電を司会者  
より披露。

七、議案審議

司会者は審  
議に先立つて  
会則の定める  
ところにより  
総会の議長の  
選任を要する  
が如何にして  
選出するやを  
計りたるに司  
会者一任との  
発議により地  
元福島県会長  
を議長として  
指名した。

議長就任 伊藤福島県会長は議長席につき就任の挨拶を  
なした。本日の会議構成員の数百二十八名を報告  
左記の通り出席、会議は適法に成立する旨を述べ  
た。

本日出席者六四名、委任状一九、計八三名

議長は議事録署名人名二名の選出方法を計りたる  
に議長一任の声あり、左記の通り指名

議事録署名人名

北海道会長渡辺慶吉、鹿児島県会長三島正道

書記 滝、藤野両理事を指名、尚福島県会員菅井、

井上二名を補助者として指名

依領することに決定  
三、滞納会費の分割納入について  
実情を考慮して経理部で処置することに決定  
◎本日、現在会員数 四七一名

### 第五回常任理事会

とき 九月二十五日 午後六時半  
ところ 於 本会事務所

出席者

渡辺会長、佐藤、藤山、岸川副会長  
関根、森口、成沢、横路、有馬理事  
山本監事 計 十名

一、法改正運動について

## 連合会

### 日行連第三回定時総会

一、日時 昭和三十八年七月六日 午前十時  
二、場所 福島県安積郡熱海町金蘭荘  
三、議案 1、昭和三十七年度会務報告  
2、昭和三十七年度決算報告承認の件  
3、昭和三十八年度事業計画承認の件  
4、昭和三十八年度予算案審議の件  
5、行政書士法改正運動経過報告の件  
6、その他

四、出席 別紙の通り  
五、来賓 福島県知事代理 大塚総務部長殿  
同県地方課長代理 渡辺課長代理

議長は議事日程中掲記した順序を一部変更して審  
議する旨を述べて議事に入った。

緊急動議

兵庫県会代議員島羽嘉都夫より議長に対して緊急  
動議提出の通告があつた議長は之を聞くべきや否や  
を議場に問うた結果如何なる動議か内容を許した  
いとの発言ありたるにより提出者より起立朗読なさ  
しめた議長は緊急動議提出について構成員何名の承  
認あるやを問うに提出者外三名の連名であり書面を  
以て提出すると述べたので動議成立を宣した議長よ  
り一般議案を先議し緊急動議は最後に審議したい旨  
の発言あつたので議長は緊急動議は後に審議する事  
に決定すると述べ提出者の承諾を得た。

議案第一号 昭和三十七年度会務報告の件  
執行部より内容の説明あり審議の結果今後は執行  
部の機構を充実して担当責任者に於て報告答弁をな  
すようにして充実した内容の原案を作成するように  
との希望条件を付し承認可決された。

議案第二号 昭和三十七年度決算報告承認の件  
本案に対しては出席者の一部から決算報告書記載  
方法に異議があつたので来年度からは経理に關して  
は徹に入り細にわたり整備し複式方式に基づいて記  
帳整理することを希望するという付帯条件をもつて  
承認可決。

議案第三号 三十八年度事業計画承認の件  
本案に対しては種々活発な意見の開陳あり究極は  
連合会は本案に基づき更に計画性と実行性のある事  
業計画を樹立し改めて常任理事会の審議を経て単一  
会に送付することの付帯条件で承認可決された。

議案第四号 三十八年度予算案審議の件  
本案は議案第三号本年度事業計画案の樹立に伴な  
う予算を勘案し左記の付帯決議をもつて正常な運営  
を計ることとして承認可決。

連合会より送達された法改正請願書の代議士の署  
名は自任両党支部へ役員が訪問趣旨を伝えて要請  
することに決定した。  
二、会報の発行について(企画部)  
会報資料不足のため担当者には苦勞が多いので役員  
は配屬して援手することにした。  
三、支部長並びに綱紀委員会の開催について  
綱紀委員会の開催は初めてであり地域的な関係も  
あるので支部長会を併せて左記のとおり開催するこ  
とに決定した。

日時 十月十三日(日) 午前十時  
場所 札幌市北二条西三丁目 辰美旅館  
議題 1、非行政書士取締について  
2、滞納会費の整理について  
3、その他

同県安積事務所長代理 五十嵐次長殿  
日司連理事長代理 山下 監事殿  
六、開会 佐々木東北支部長司会し開会を宣す。  
開会の辞 石井副会長  
会長挨拶 橋本会長はこれより第三回定時総会を  
開催する旨挨拶  
来賓祝辞  
1、大塚福島県知事代理は本県に於て全国会を  
開催され光榮であると祝辞を述べられた。  
2、山下日司連理事長代理は理事長是非なき所  
用にて出席不可能であるから代理する旨挨拶

科目の流用は常任理事会又は支部長会の議を経て行  
うこと。

行政書士法改正運動経過報告の件

清九法改正特別委員長は運動の経緯を詳細に説明  
して報告了承を得た。

議案第五号その他の件

岩手県佐賀県会の両会より要望事項及び協議事項  
の書面提出があり

岩手会要望

1、業務内容明確化を成文し法改正を望む  
2、事務所移転に伴なう登録替について  
3、業務要領(指針)を発行すること  
佐賀会要望

1、本部会費の格差について

2、食品衛生協会の無資格書士取締り

3、官庁の窓口過剰サービス対策について  
何れも審議を行つて提案会の了承を得た。

次回開催地決定の件

関東地区とし期日は理事会に一任することに決定  
した。会日は二日間とし一日は総会一日は官庁國會  
等訪問したいとの希望意見があつた。

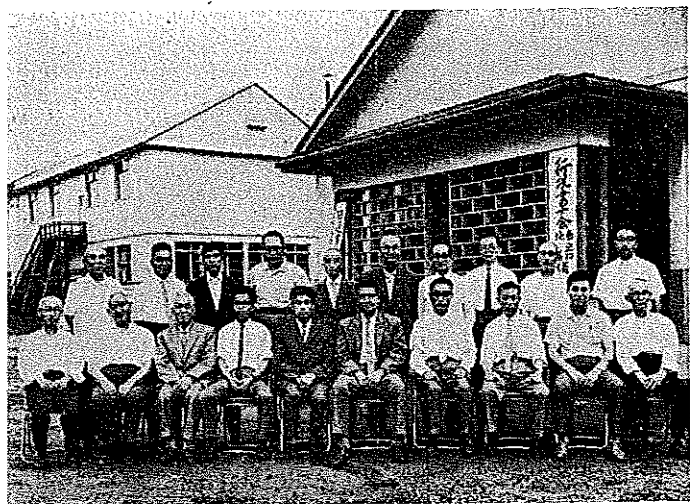
緊急動議上提

議長は緊急動議審議の前に会長、副会長、特別委  
員長の辞表を受理した旨報告、この二つの問題の処  
理方法を如何にするかを議場に計つた議長より本件  
の円満な処理を行うため臨時支部長会議を開きその  
意向に副うようにしたい旨の発言あつたので議長は  
休議を宣した。

(休議中臨時支部長会議を別室で開催)

議事再会、石井瑞玉会長は臨時支部長会議の結果を  
左の通り議場に報告した。

1、橋本連合会長不信任案及び会長、副会長、特別



支部だより

北海道行政書士会空知支部南部部会講習会開催

実情報告書により非行政書士に通告する。  
(2) 資格名義貸者については各単一会長に対し実情調査を依頼し、その報告によりこれ等名義貸者を各都道府県知事に通告し登録取消方を要請する。  
四、窓口過剰サービス防止対策  
本部より各都道府県知事に対し公務員にして申請者又は届出人の書類を代つて作成するものに対しては公務員法又は行政書士法違反者として処分せられる旨を通告要請する。

兵庫行政書士 第五号、第六号  
岐阜行政書士会会報 第六号  
福岡行政書士会会報 第二号  
岡山県行政書士会報規定

寄贈

右定刻開催、講師より詳細に渉る講義を受け午後四時から各農業委員会事務局係員各位を交えて経験の御披露及び会員の質疑等を兼ねる懇親会を開催し、有意義な研修を終了した。

一、会 場 栗山町公民館  
二、日 時 昭和三十三年八月四日午後一時～四時  
三、講習科目 農地法第三條乃至第五條第二十條の規定等に関する法の解説並びに許可申請書式要領  
四、講 師 北海道庁小作主事、小林玄治先生(空知支庁農地係長)  
五、出席者 夕張市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町、栗沢町、三笠市、岩見沢市在住行政書士二十八名及び栗沢、長沼、栗山、三笠の各農業委員会事務局係員  
右定刻開催、講師より詳細に渉る講義を受け午後四時から各農業委員会事務局係員各位を交えて経験の御披露及び会員の質疑等を兼ねる懇親会を開催し、有意義な研修を終了した。

支部別	6カ月上	12カ月上	20カ月上	小計
札幌	33	11	0	44
札幌小	13	4	3	20
旭留	6	0	0	6
宗谷	10	6	0	16
網走	8	0	2	10
室蘭	1	0	0	1
高路	2	0	0	2
室蘭	11	3	2	16
高路	2	1	1	4
室蘭	2	1	1	4
高路	4	1	1	6
室蘭	2	0	1	3
高路	1	0	0	1
合計	95	27	10	132

会費未納者調

(38年9月25日現在)

支部別	入会	退会	計
札幌	2	0	111
札幌小	1	0	40
旭留	2	1	33
宗谷	0	1	65
網走	1	1	64
室蘭	0	0	9
高路	0	0	7
室蘭	4	1	55
高路	0	0	30
室蘭	0	0	11
高路	0	0	31
室蘭	0	0	12
高路	0	0	5
合計	10	4	473

支部別会員数

(38年9月末日現在)

雑報

一、法改正運動  
(1) 本部より関係代議士および地方部会、政調審議会、総務部会等に積極的に運動すると共に横の運動として各単一会において選出代議士各自の協力を得るよう本部作成による請願書に陳情書を添えてそれぞれの方法をもつて運動すること。  
(2) 各単一会の運動費用については必要に応じ単一会の要請により本部より送金する。  
二、業務侵害対策  
本部より各都道府県知事に対し行政書士法第一條及び第十九條の趣旨を通告すると共に類似会に対しても侵害の実情を列挙して通告するようにする。  
三、非行政書士及び資格者の名義貸等の取締強化に關して  
(1) 非行政書士の取締に対しては本部より各単一会に対しこれ等非行政書士の実情の調査を依頼し、

連合会昭和三十三年年度  
事業計画

事務局長 清丸 頭雄 次長 高橋 春海  
総務部長 伊藤 隆造 次長 佐藤 国雄  
企画部長 石井榮太郎 次長 滝 重保  
常任理事 北海道 藤山 利夫 中部 高橋 二三  
東北 高橋小平治 近畿 種本 次左  
関東 鈴木徳太郎 中国 本光 松夫  
" 藤野 一郎 四国 萩原 正巳  
" 伊藤 秀夫 九州 岡部金兵衛

日本行政書士会連合会  
事務局構成

議長は橋本連合会長不信任案は反対多数で否決された旨報告、次いで会長以下四名の辞任の件を如何に取計うかを議場に計った。石井副会長は辞表を撤回しないと発言する。この時大阪大坂会長は近畿は本席より退場すると発言し、大阪兵庫奈良滋賀は退場した。議長は会長以下四通の辞任届は議長に於て握りつぶしとし、不問に付したい旨発言、満場拍手賛成多数であつたのでその通り処理することに決定すると報告した。  
議長は以上を以て本会議事全部を終了した旨を宣し、挨拶をして議長席より退席した。  
八、閉 会  
閉会の辞を清丸副会長が述べ時に午後七時。

連合会会議の出席報告

会 長 渡 辺 慶 吉 (日行連北海道支部長)  
副会長 藤 山 利 夫 (日行連常任理事)

去る八月十三日第四回常任理事会の承認を得て連合会の支部長並びに常任理事会に出席し審議に参画したので、概要を左記のとおり報告します。

- 一、日 時 三十八年八月二十日 午前一〇時  
一、場 所 東京都千代田区永田町参議院会館  
一、出席 連合会長以下一六名  
二、議 事  
1、執行部体制確立の件  
①執行部三部門の担当者(別記事務局構成参照)  
②事務局長は会長外三部長で人選する。  
③常任理事氏名追加(東京会より)  
2、三十八年度事業計画の件(別記計画書掲載)  
①法改正の件  
②業務侵害対策の件  
③非行政書士及び資格者の名義貸等取締強化に關する件  
④窓口過剰サービス対策の件  
⑤労務管理士に關する対策の件  
⑥中小企業診断士、社会保険士、環境衛生に対する業務侵害対策の件  
以上一括審議、法改正ができれば必然的に解消する事柄である故法改正に重点を置くことに決定  
3、その他  
強制会以後の旧役員に感謝状贈呈の件  
一、閉 会 午後三時一五分

五、労務管理士に關する対策  
本部より日本労務管理士連合会に対し所属会員にして行政書士の資格なき者は官公署に提出する書類の作成は出来ない旨の通告をする。  
六、中小企業診断士、社会保険士、環境衛生業務侵害対策  
営調査士、社会保険士、環境衛生業務侵害対策  
これ等の業務員は法的に認められたものにあらずるものが行政書士の業務を行うことは書士法違反であるから自治省に防止策を要請する。

会員の異動

◇入会者 (七名)

支部別	氏名	事務所	登録	会員登録	年入月日	備考
札幌	吉田 正史	千歳市東雲町三丁目	第三八号	五二二	38・9・16	
〃	脇 美隆	札幌市大通西十二丁目四番地	第三〇号	七〇	35・10・4	小樽市より移転
函館	成田 貞雄	亀田郡七飯町緑町三条通	第三八号	五一九	38・9・4	
小樽	寺島 一郎	岩内郡岩内町字御崎三二二	第三八号	五二〇	38・9・12	
〃	青山 太吉	小樽市見晴町九一	第三八号	五三二	38・9・17	
旭川	大場 和夫	旭川市一条通六丁目左十号	第三八号	五三三	38・9・27	
網走	大橋 与三	常呂郡佐呂間町字永代町	第三八号	五一八	38・9・1	

◇退会者 (四名)

支部別	氏名	事務所	登録	会員登録	年入月日	備考
小樽	脇 美隆	小樽市花園町西二丁目	第三〇号	七〇	38・9・12	札幌市へ移転
空知	出淵 実	雨竜郡秩父別町二三〇七	第二六号	三二〇	38・9・14	死亡
旭川	池津 栄	空知郡山部村字山部市街	第二六号	二〇七	38・9・16	病氣
網走	牛渡 繁	網走市南六条西三丁目	第三八号	一一三	38・9・12	病氣

◇事務所変更

札幌支部 斎藤 好富(新) 札幌市南一条西十丁目四番地  
脇 美隆(新) 札幌市大通西十二丁目四番地  
網走支部 真貝 四郎(新) 北見市七条東一丁目二番地  
◇氏名変更  
札幌支部 (旧) 大高 源岡 (新) 大高 源恵

事務局より

日誌

8月1日 暑中見舞状を関係官公署、日行連、単一会宛発送  
〃 6日 市町村別会員数調成  
〃 7日 室蘭、帯広の両支部長へ会費免除申請書の副申をお願いする。  
〃 8日 滞納会費の早急整理と支部総会の経過報告について網走支部へ依頼状発送  
〃 9日 近畿支部「調停案受諾に当って」と題する声明書を受理  
〃 〃 日行連支部長並びに理事会開催の案内状受理  
〃 〃 会費の分割納入について四氏へ回答  
〃 12日 行政書士試験の実施について、道総務部長より協力依頼あり  
〃 〃 日行連総会議事録返送  
〃 13日 第四回常任理事会

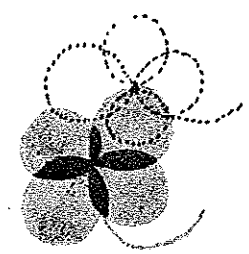
お願い

◇入退会届、事務所や電話移転届、補助者使用届、その他諸届書は必ず所属支部長を通じて提出下さい。特に会費の減免延納等の申請書は支部長を経ないと処理が非常に遅れますのでご注意ください。  
◇入会届に正規の職印(支庁へ届出でた角印)の押印がないため処理に手間どっています。この点は特に支部長さんにお世話願います。  
◇会費の領収書のことについて大変ご心配をおかけして居りますが、右は振替の領収証を以て代えさせて頂きます。なお会費は最も安全な振替で御送金願います。

他山

反省

この十月一日で強制会が始まって足かけ四年まる三年を迎える。この間の会の歩み方はどうだったか。また会員一般の協力体制はどうだったか。これは、みずからの心の中にあることである。多くを語る必要はない。しようと思えば仕事は何ほでもあるし、しうまいとすればそれでも済む。責任があつてないようなのが同業者の団体である。誰かがするだろう。ということ、は、誰もしないということにも通じる。お互いの会だからみんなよくしよう。  
会費は三カ月前納。これ位のこと自給的に実行できないようなことではオトナの会とは申せない。こんなに背丈もびたのだから早くオトナの仲間入りしたいなあ。(兵庫会)



8月18日 連合会支部長並びに常任理事会へ出席のため、渡辺、藤山両役員出席  
〃 19日 入会届書には正規の職印を押印して再提出されるよう、函館支部会員へ通知  
〃 24日 斎藤好富殿(札幌)ご来訪、会費納入と事務所移転届  
〃 26日 沖中頭蔵殿より仮受理してあつた入会届及び入会金、会費等を返送す  
〃 28日 会費納入についての催告書を再発送  
〃 〃 成沢理事殿ご来訪  
〃 29日 会報9、10号原稿を正文舎印刷所へ廻送  
〃 30日 農委職員M氏の非行政書士容疑事件について、所轄E警察署長宛願書提出、同時に資料を提供されたK氏に之を報告  
〃 31日 窓口サービス行過ぎに対する防止対策要望の会員教氏へ本部の絶え間ない努力経過を報告し、且つ風聞的な報告のみでは処置方法がないので具体的な資料の協力を要請す  
〃 〃 会費分納について、理事会の決議事項を該当会員教氏へ通知  
〃 〃 会員移動通知(8月中の入会3名、退会なし)  
9月2日 手稲町農委へ会員名簿一部送付  
〃 〃 佐藤喜作殿(札幌)ご来訪、会費納入  
〃 4日 成田貞雄殿(函館)大橋与三殿(網走)の両氏へ表札を送付  
〃 5日 法改正についての諸願書三〇部着  
〃 10日 青山太吉殿(銭函)ご来訪、入会手続  
〃 〃 脇美隆殿ご夫人(札幌)ご来訪、会費納入  
〃 12日 寺島一郎殿(岩内)ご来訪、入会手続  
〃 〃 空知支部の出淵実殿(秩父別)が去る五月死亡された旨遺家族より通知あり  
〃 14日 青山太吉殿(小樽)ご来訪、入会手続  
〃 16日 〃

9月16日 吉田正史殿(千歳)ご来訪、入会手続  
〃 〃 連合会三八年度事業計画受理  
〃 〃 T市農業委員会では事務処理に関するパンフレットを行政書士以外の業者にも配付された旨報告受理  
〃 17日 T市農業委員会会長宛に、各種申請書の受理に際し、違反者に対する黙認等のないよう、関係法令集、会員名簿、宣伝ポスター等を添えて協力を要請する文書発送、右をパンフレット提供会員へ通知  
〃 18日 T市農業委員会会長宛に、各種申請書の受理に際し、違反者に対する黙認等のないよう、関係法令集、会員名簿、宣伝ポスター等を添えて協力を要請する文書発送、右をパンフレット提供会員へ通知  
〃 20 行政書士の職印について後志支庁へ照会  
〃 23日 高田敏一殿(札幌)御夫人ご来訪、会費納入  
〃 〃 第五回常任理事会  
〃 25日 会報第9、10号会員並びに各単一会へ発送  
〃 26日 行政書士の職印について後志支庁より回答受理  
〃 27日 右について小樽支部会員へ通知  
〃 〃 支部長並びに綱紀委員会開催通知発送  
〃 〃 空知支部長より同支部南部部会講習会の状況報告  
〃 〃 熊谷菊治(札幌)殿ご来訪、会費納入  
〃 30日 会員移動通知(9月中の入会7名、退会4名)

## 法 匪

九大講師の民法講義を受けたことがあるがその中に法匪という言葉があつた。辞書には法匪なる語はみつからないが、法はおきて、匪は非又は悪徒とあるから直訳すれば法の匪賊という事になる。それは実例をあぐるまでもなく、常に法網をくぐり且つ法の裏をかき法の盲点のみをつく知能犯にも等しい輩であらう。

さて話は三十年前の昔満洲事変当時に通るが、朝鮮の北の端「此処は朝鮮北端の二百里あまり鴨綠江」歌にもあつたあの鮮満国境で河を渡つて日夜襲い来る満洲匪賊と戦つた昔を想い出すのである。

時は移り世は変つても匪は後を絶たないだらう。同様に匪賊ならで法匪の横行も頻りであらう。昔とつた三八銃や竹槍では法匪討伐はできないがさてどうしたものか。(福岡会)

札局間清二一三三

昭和三十八年十月五日

北海道行政書士会

会長 渡 辺 慶 吉 殿

札幌市北大通り西七丁目

札幌国税局長 三 浦 道 義

電話 ④〇一六一

行政書士が発する受取書等に対する印紙税の取扱について(昭三八・十・一付三八 総第七四号照会に対する回答)

御照会のありました標題のことについて、下記のとおり回答します。

## 記

一、行政書士が業務上発する受取書、非課税

(理由)

自己の業務の提供により収入を得る行政書士の業務は、営業には該当しないので、印紙税法第五条第一四号の規定により、営業に關しない受取書として、印紙税が課税されません。

二、行政書士が発する予納預り証、課税 一〇円

(理由)

予納預り証は、依頼者が行政書士に支払うべき手数料等の概算前払および第三者に支払うべき金額を一時一括収納したときに発する証書と認められますが、受取書が作成者の財産権の消滅を証明するものであるのに対し、予納預り証は依頼者に対して予納金を預つたことを証明するものであつて、依頼者の財産権の創設を証明するものでありますから、印紙税法第四条第一項第二三号に規定する寄託に關する証書に該當することとなります。

## 後 記

○ 各支部夫々独自の活動をして居られることと思いますが、今回は原稿の資料が少なく残念でした。講習会、研修会、その他諸会合の状況等は非ご連絡下さい。

○ 会報に会員相互の心と心の通う温かい紙面があつたらなあ。どんなにか楽しいだらうにと思ひます。どうか、折りにふれてものされた感想、ご意見、その他旅行記、歌、俳句、川柳等どしどし御寄せ下さるより希望します。